

「秋の東北鉄道旅行(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

鉄道開業150周年で、何となく日本中が湧いている。ここ数週間は、テレビでも鉄道関係の番組が非常に多く、録画が間に合わないほどだった。そんな中、JR東日本もいくつものキャンペーンを実施している。その一つが「鉄道開業150年記念・JR東日本パス」という切符(企画乗車券)である。

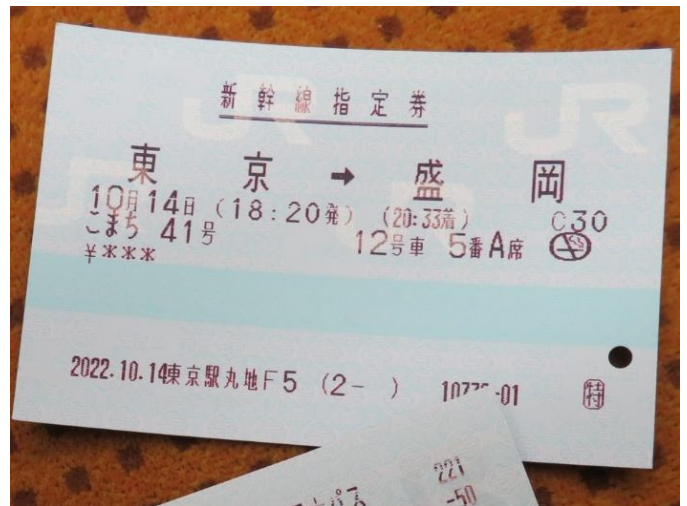


この切符は任意の3日間有効で、JR東日本管内の鉄道線に乗り放題、在来線特急の自由席、新幹線の自由席も乗り放題、更に指定席も4回まで利用できる。JR以外にも、「青い森鉄道」「岩手銀河鉄道」「三陸鉄道」「北越急行」「富士急行」「伊豆急行」「えちごトキめき鉄道」にも乗り放題・・・という内容。私が知る限り、JR東日本の企画乗車券としては「開闢(かいびやく)以来」「空前絶後」のすばらしい内容だと思った。私は何とかこのパスを使って旅行をしたいと思っていたが、なかなかチャンスがなかった。そうこうしているうちに、発売期限が迫って来てしまった。



ぐずぐずしていると買いそびれそうなので、一念発起して、10月14日(金)から16日(日)までの3日間有効の切符を手に入れた。入手方法はちょっと難しく、「えきねっと」でしか買えない。「みどりの窓口」や「指定席券売機」では売らないのだ。しかも、旅行開始日より3日前までに買わないといけないという制約まである。「よし明日から行こう」という旅行者が突然買おうとしても買えない仕組みになっているのだ。

金曜日はもちろん勤務日で、しかも午後に1年生の遠足の下見を入れていた。千葉県への下見に行ったあと、まずは東京駅から東北新幹線に乗ることにした。



この切符では、新幹線や特急の「自由席」は乗り放題だが、指定席は4回までしか乗れない。以前とちがって、今は新幹線も在来線特急も「全車指定席」の列車が多くなった。東北新幹線も全車指定席の列車が多い。東京18:20発の東北新幹線は、北海道新幹線の新函館北斗行「はやぶさ41号」と、秋田新幹線の秋田行き「こまち41号」が併結されている。私は少し空いている「こまち41号」の指定券を入手した。